

気候変動問題とは

気候変動問題とは？

最近、暑すぎる日が続いたり、強い台風や大雨が増えたり、逆に雨が降らなかったりと、気候変動の影響による災害が世界中で起こっています。

この気候変動の原因と考えられているのが「地球温暖化」。いま、私たちの暮らす地球は過去1400年間で最も暖かくなっていますが、将来、地球の気温はさらに上昇し、私たちの生活により深刻な影響を与えていると考えられています。



気温上昇を抑えるには？

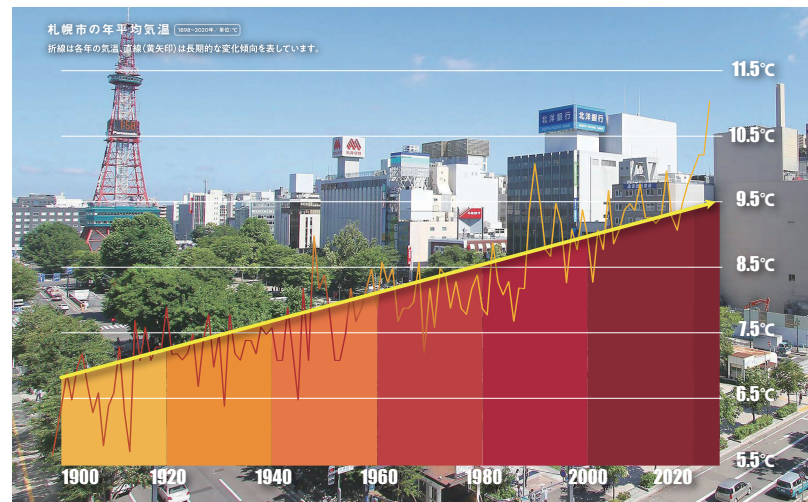
気候変動による将来的な被害を最小限に抑えるためには、産業革命前に比べて世界の平均気温の上昇を1.5℃までに抑える必要があります。

そのためには

**2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を
実質ゼロにすることが必要です。**

しかし、このままのペースで気温上昇が進むと、早ければ2030年には気温上昇が1.5℃に達すると予測されており、2030年に向けたこれからの私たちの行動が未来を決定するとも言われています。

**札幌市は、年平均気温が100年あたり
約2.1℃の割合で上昇しています。**



**このまま地球温暖化が進むと
21世紀末には・・・**



平均気温が
約4.8℃上昇



短時間強雨の発生頻度が
約4.6倍

札幌市を含む石狩地方では、厳しい温室効果ガス削減策を取らなかった場合(RCP※8.5)、21世紀末の年平均気温は20世紀末と比べて約**4.8℃**上昇すると予測されています。

※代表的濃度経路 (Representative Concentration Pathways) の略。人間活動に伴う温室効果ガス等の大気中の濃度が、将来どの程度になるかを想定したもので、IPCC [第5次評価報告書] ではRCP2.6、RCP4.5、RCP6.0、RCP8.5の4種類が用いられた。
値が大きいほど2100年までの温室効果ガス排出が多いことを意味し、将来的な気温上昇量の度合いが大きくなる。
参考:「石狩地方の気候変動「日本の気候変動2025」(文部科学省・気象庁)に基づく地域の観測・予測情報リーフレット」札幌管区気象台作成